

## 消化器・総合外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 左側臥位胸腔鏡下食道切除術の変遷と治療成績

[研究機関] 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

[研究承認] 当大学医の倫理審査委員会での審査を経て学長より許可されました。

[研究実施期間] 2022年12月31日までを予定しています。

[研究代表者] 松本 壮平（消化器・総合外科）

[利益相反] 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

[研究の目的] 2013年から2018年までに当科で行った、胸腔鏡下食道切除術において、2013年1月から2016年8月まで行っていた2モニター小開胸併用の方法と2016年9月から2018年12月まで行なった1モニター完全鏡視下による方法とを比較し、その治療成績を検討します。

[研究の意義] 胸腔鏡下食道切除術は大きな侵襲の手術で、出血量や手術時間を少なくすることは患者さんの体の負担を少なくするために重要と考えられます。2つの方法を比較検討することで、どちらの方法がより、患者さんの負担を少なくすることができるかを解析します。

[研究の方法] 2013年1月から2018年12月に当科で胸腔鏡下食道全摘を施行した患者さんの術前因子、手術因子、病理学的因子、術後合併症などを集積し検討を行います。

対象となる患者さん

2013年1月より2018年12月までに胸腔鏡下食道全摘術をうけられた方

利用する情報

- 患者情報：年齢，性別，身長，体重，BMI，併存疾患
- 腫瘍情報：腫瘍の占拠部位，進達度，リンパ節転移，遠隔転移，ステージ
- 治療情報：郭清度，手術時間，出血量，術後合併症

[個人情報の取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報の研究番号を付与して 上述の情報のみを残したデータを用いて解析します。研究番号と個人情報の対応表は研究責任者が厳重に管理します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者様の負担や利益は生じません。

\*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院

消化器・総合外科 担当医師 松本壮平

電話 0744-22-3051(内線 3419)

FAX: 0744-24-6866

e-mail:

msohei@naramed-u.ac.jp